

One Earth Guardians 育成プログラム

---

# 2021年度 活動報告書

## 機構長より

昨年12月、One Earth Guardians育成プログラムは5年目を迎えました。これまでのプログラムの軌跡を共に創ってきてくださったすべての方に、あらためて深く感謝を申し上げます。

2022年4月に第5期生となる受講生を迎え、これまでの総勢は60名となりました。2018年度に初めての受講生となった1期生は、参加当初はその全員が学部3年生でしたが、在学者についてはこの春から博士課程1年生になりました。高度な専門性を磨きつつも、他の分野にも目を向け連携できる人材が育ってきていることを頼もしく感じています。

また、大学を卒業・修了し、企業や研究機関、省庁等に就職した受講生たちも増えてきました。社会のさまざまな現場にOne Earth Guardiansの志を持った若者たちが巣立っていっています。

2021年度は、これまで続けてきた多様なバックグラウンドの方が入り混じる場に加えて、個別の企業やプロジェクトとのコラボレーションにより、特定の目的や課題を深く掘り下げる機会も増えた年でした。ワークショップから生まれたアイデアがコンテンツや商品として実際に社会の皆さまに届けられた例もあり、One Earth Guardiansとしての活動の成果が形になる実績が生まれるとともに、携わった学生にとってはまたとない学びの機会となりました。社会と双方向で創り上げるプログラムの形が、この4年数か月の間に前進してきたことの表れだと感じています。

今年度、One Earth Guardians育成プログラムは新たな段階を迎えようとしています。全学展開に向けた試みとして、5期生募集の範囲を他の学部・研究科にも広げたほか、高校生などを対象にした新たなプロジェクトも始まります。また、One Earth Guardians認定科目「ワン・アースロジー III」を担当いただく非常勤講師として、産業界で活躍する方数名をお迎えしました。「ワン・アースロジー I, II」を経て、“領域を超え、社会に提言する”ことを目指す受講生たちにとって、心強い伴走者となってくださることでしょう。

さらに、2022年7月7日には「一般社団法人One Earth Guardiansオフィス」を設立し、当初より構想されていた、学内組織と学外組織とが連携する運営体制が構築されつつあります。

グリーン・トランスフォーメーションといった言葉にも表されるように、私たちの社会全体が変わらねばならない時が来ています。「100年後の地球のために私たちは生物として何ができるのか？」開始以来、原点にあるこの課題を常に問いなおしつつ、皆を巻き込んで良い未来を目指すための協創プラットフォームとして、One Earth Guardians育成プログラムはさらに活動の場を広げていきます。

新たな一步を踏み出したOne Earth Guardians育成プログラムを、今後とも末永く応援いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年7月

東京大学 大学院農学生命科学研究科長  
One Earth Guardians育成機構長

堤伸浩



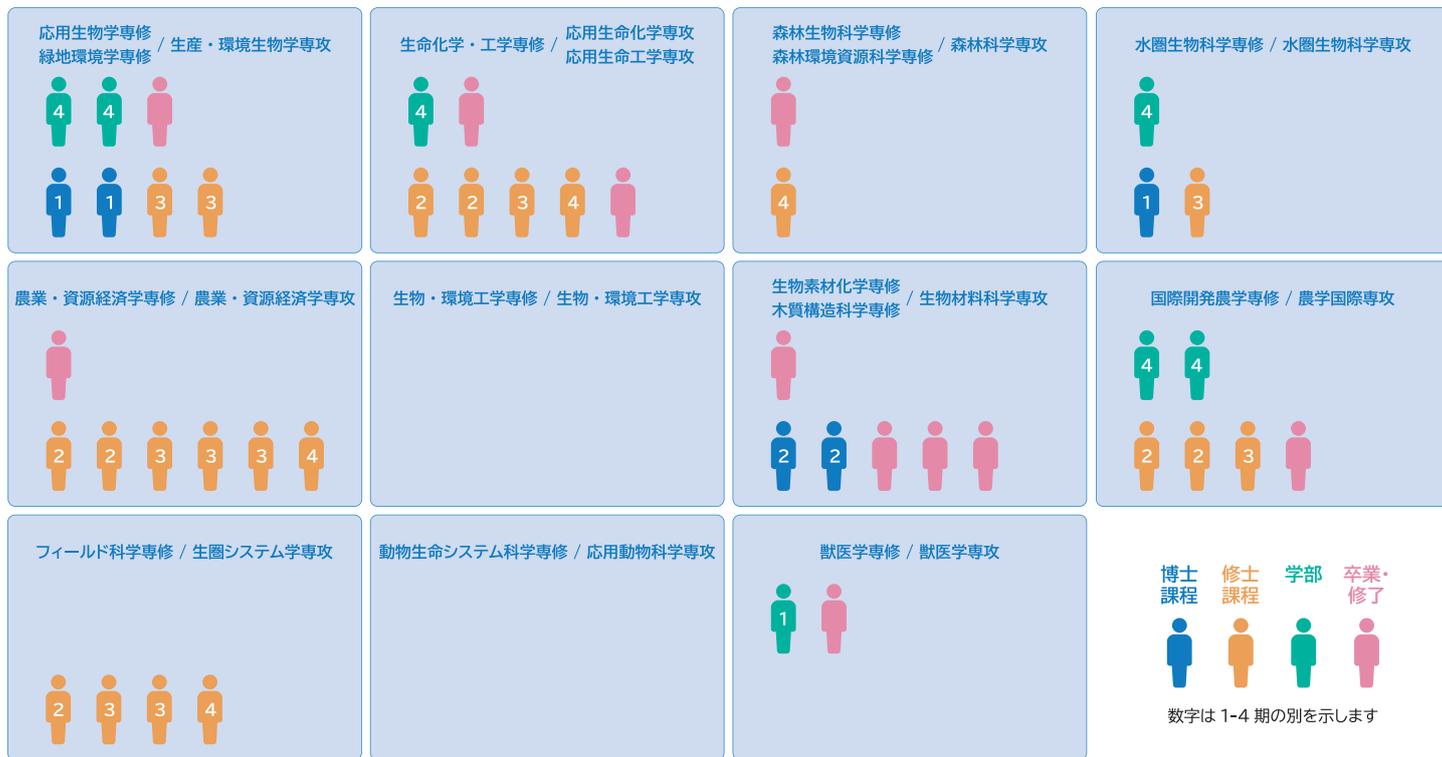
### ご寄附への御礼

皆さまにいただきましたご寄附は、実学研修の実施のために必要となる交通費、宿泊費、調査費などを受講生に支援する実学研修補助費制度のほか、セミナー等における講師の招へいや、社会への発信や交流の場の構築などの様々な形で大切に活用させていただきました。皆さまのご支援に、心より感謝申し上げます。

# 受講生(1-4期生)の分布

(学年・所属は2022.4.1現在)

東京大学農学部は14の専修、大学院農学生命科学研究科は12の専攻から構成されています。横断プログラムであるOne Earth Guardians育成プログラムは、さまざまな専修・専攻から多様な専門分野の学生が参加しています。学部3年生から博士課程の大学院生まで幅広い学年の受講生が在籍する層の厚さも特徴となっています。2021年度には10名の4期生が新たに参加しました。



(2022年度は全研究科・学部採用の枠を広げ、前期教養課程の2年生 2名を含む、17名の5期生が新たに参加しました)

## 受講生の進路

株式会社出光興産株式会社 / NHK / 環境省 / 株式会社サンケイエンジニアリング / 株式会社シグマクス / 株式会社スマートブルー / 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 / 農林水産省 / 株式会社雨風太陽 (旧名:株式会社ポケットマルシェ) など

## OEGs受講生の声

### 1期生 獣医学専修

社会人になった時に自分のバックグラウンドとなる領域をより高い解像度で理解することに繋がったと思いました。

### 1期生 生産・環境生物学専攻

(受講生が自主的に始めた)OEGs病理部は、横断的に学生のつながりを形成させているOEGs育成プログラムの賜物であったと考えている。通常の研究生活を送っていたらアクセスできなかったであろう分野の広がりを知ることができ、貴重な機会であった。

### 1期生 生物材料科学専攻

地球の抱える問題を解決したいと考える同志が身近な存在になることがOEGsに加わった大きなメリットだと思いました。自分は一人ではなく、この問題を自分たちの世代で対処しなければいけない、見ないふりをしてはならないと考えていく支えになるものだと思っています。

### 2期生 生物材料科学専攻

専門外の分野に足を踏み入れたことで、独りよがりではない提案をするために必要なステップや力を基礎から学べました。自然や社会とのつながりを活かした地域ぐるみの取り組みを様々な場所で広げていくことで、国ぐるみ、やがては地球ぐるみの持続的な営みとなっていくようにできたらと思いました。

### 3期生 国際開発農学専修

食品廃棄物削減への取り組みは企業努力だけではなく消費者や社会全体を巻き込んだものが必要だと感じました。難しい問題や課題が多いので、OEGsのように継続して知恵を出し合う活動の場は価値のあるものだと感じています。

### 3期生 応用生物学専修

(OEGsの間からは)具体的な数値を求めながら根拠や解決策を示す姿勢や、他の分野の話にも自分の専門分野を関連させる考え方など、今後の活動に活かせる学びを多く得られたと思います。

### 3期生 緑地環境学専修

同じことを体験しても、バックグラウンドが違えば注目する部分は異なり、他の人と議論することで視野を広げることができました。特に実学研修の現地訪問では、自分1人で行っていたら見逃してしまっていたようなことも、メンバーと振り返ることで新たな学びを得ました。

### 3期生 農業・資源経済学専修

大学という枠を飛び出して企業や官公庁の方と一緒に、食や農業の未来について考える機会が多い1年でした。学生として、研究者の卵として、自分の関心を高めつつ社会にも貢献できるような活動を展開していきたいと思っています。

### 4期生 応用生物学専修

広く使われる技術や仕組みが必ずしも重要なのではなく、地域に根ざした取り組みの輪が少しずつ広がっていくことが、確実に定着していくために重要なことであると気付かされた。

# 広報活動 / 渉外活動

## 活動報告・Webページ・SNS等

### OEGs NEWS LETTER刊行

プログラムの近況をお伝えるニュースレターの刊行を開始。今後は春と秋の年2回、活動の様子やニュースを参画者やイベント参加者等に送付する予定。

### 農学部リレーインタビュー記事の公開

OEGsアドミニストレーターがつづけてきた農学部教員たちのインタビューの様子を記事としてnoteで公開。



### OEGsウェブサイトの更新・改修

「受講生の声」に2期生、3期生を追加。  
「活動レポート」を随時更新。  
協賛事業「地球の未来を編むワークショップ」ページを追加、など。



## 講義・講演等

- 2021.5.19 東京大学卓越大学院アクティブラーニングシンポジウム「One Earthologyにおけるactive learning」  
(高橋 伸一郎 教授、潮 秀樹 教授)
- 2021.5.24 自治医科大学医学研究科教育委員会主催大学院特別講義「基礎研究と応用研究のリエゾンから生まれたOne Earth Guardians 育成プログラムとムーンショットプロジェクト:次世代栄養学『AI Nutrition』が果たす役割」(高橋 伸一郎 教授)
- 2021.6.8 文部科学省の学術振興に携わる若手職員勉強会  
『『学術』研究と『生術』研究のリエゾンから生まれたOne Earth Guardians育成プログラム』(高橋 伸一郎 教授)
- 2021.7.10 東京大学オープンキャンパス2021  
農学部説明会「農学への招待:100年後の地球のために何ができるか、一緒に考え、研究しませんか?」(高橋 伸一郎 教授)
- 2021.7.29 第60回 持続可能な未来に向けての技術革新を語る会(共同事務局:三菱ケミカル、理研)  
「エネルギー・環境:持続可能性と経済発展の両立のための提言」(ファシリテーター 高橋 伸一郎 教授)
- 2021.9.20 Kick-off symposium of Core-to-Core International Collaboration on "International research core on regulation of insulin-like activities for extension of health life span" supported by JSPS and Moonshot Research & Development Program on "Creation of Next-Generation Food Supply Industrial Chains for a Natural Capitalism Society" supported by BRAIN (高橋 伸一郎 教授、伯野 史彦 准教授)
- 2021.10.6 都立新宿高校 模擬講義 「皆さんも地球医の仲間に加わりませんか?」(高橋 伸一郎 教授)
- 2021.12.23 都立国立高校による農学部訪問 One Earth Guardians育成プログラムの紹介 (高橋 伸一郎 教授)
- 2022.2.28 東京大学URAネットワークシンポジウム — UTokyo Compassが示すURAとの協働 —  
Perspective 2: 人をはぐくむ「高い専門性と実践力を備え次世代の課題に取り組む人材の育成」(高橋 伸一郎 教授)

この他、企業向けや学校での講義・講演などを行っています

## 執筆・取材記事等

### 赤ちゃん歯科ネットワーク会誌 (vol. 8 掲載予定)

One Earth Guardians育成プログラムのその後  
高橋伸一郎、五十嵐圭日子、潮秀樹、田中智、後藤康之、深尾友美、中西もも



赤ちゃん歯科  
ネットワーク会誌

### TOKYO FOOD INSTITUTE コラム (2021.8)

三坂巧、中西もも インタビュー記事  
vol. 1 学生たちが描く「Beeat!!八重洲」未来の食プロジェクト  
vol. 2 東大・宮城大の先生方3人が考える食の未来と課題



vol. 1



vol. 2



学生たちが描く 未来の食 プロジェクト

## 渉外活動

### みずほSDGsリリース (2021.6 ~)

みずほリース株式会社、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が取り扱いを開始した「みずほSDGsリリース」の寄付先団体の一つとして設定されました。



みずほリサーチ &  
テクノロジーズ  
ニュースリリース

### メルカリ寄付 (2021.9 ~)

One Earth Guardians 育成プログラムの取り組みをもって東京大学がメルカリ寄付プログラムの寄付先団体(「サーキュラー・エコノミー・リーダー」枠)として選ばれたことにより、メルペイ残高を寄付できる「メルカリ寄付」機能を通じて、OEGsにご寄付をいただくことが可能になりました。



メルカリ寄付

# 「ワン・アースロジー」実学研修

社会とのかかわりの中で学ぶことを通し、科学の基礎力と俯瞰力を課題解決につなげる力を培うため、協力企業・NPOなどと受講生とが共に取り組むインターンシップです。教員も交えながら産業界や社会の実課題に向き合い、協働創出の場ともなります。OEGs認定科目「ワン・アースロジー-I・II・III」において実施します。

# One Earthology Seminar

100年後のありたい姿、どんな地球に生きていたいかを思い描きながら、学び、話し、考えるOne Earthology 協創の場。学生、教員、企業等の方が参加して、異なる背景を持つ者が同じテーブルにつき、時にトレードオフにもなる多様な視点をふまえた対話を行います。2021年度は「食」「生物多様性」「土」の3テーマで開催

# LUC Lecture

LUCには「光」という意味があります。学外、学内の講師によるレクチャーを受け、意見を交換することで、これまで見えていなかったこと・知らなかったことに目を向け、考える「=光をあてる」ための学びの場とします。

# LUC Lecture -Spotlight-

LUC Lecture -Spotlight- は、OEGs受講生たちの「この人の話が聞きたい=スポットライトをあてたい」を実現する場として、受講生自身の企画、発案によって開催されます。(2021年度は開催なし)

# 0 to 1 Workshop

ゼロからイチを創りだした経験をもつ起業家などの方々の実体験を活かしたハンズオン中心のワークショップ。リーダーシップや他者を巻き込む力を養う場を目指し、そのための土台となるコミュニケーションやプレゼンテーションスキルを磨きます。(2021年度は開催なし)

# 企業・プロジェクト等とのコラボレーション

企業やプロジェクトとのコラボレーション企画。特定のテーマや課題を深掘りし、One Earth Guardiansとしての提案につなげます。コンテンツや商品の形で形実化する例も出てきています。

# 受講生たちによる活動

受講生有志たちによる自主ゼミのほか、学外における活動として登壇や企画したイベントなど。受講生たちが自発的に、分野横断的なコミュニティ形成や社会への働きかけを充実させてきています。

# その他の教育・研究活動

- <教育活動>
  - ・全学自由研究ゼミナール「地球医のすすめ：タネ蒔く農学部有志」
  - ・全学自由研究ゼミナール「Agric Scientists Studio Interview」
- <研究活動>
  - ・ムーンショット目標 5 プロジェクト、正式課題に採用
  - 「自然資本主義社会モデルを基盤とする次世代型食料供給産業の創出」



2021.4.7 第4期生募集説明会

2021.4.28 第4期生オリエンテーション

2021.4.26 自主ゼミ「資源利用のミスマッチ」最終討論会

2021.6.9 「ワン・アースロジー」実学研修 企業からの説明会

2021.7.11 東京大学オープンキャンパス 2021 OEGs 企画

2021.7.28 One Earthology Seminar 2021 100年後のいいただきますを考える 1st round

2021.8.25 One Earthology Seminar 2021 100年後の多様な命を育む 1st round

2021.9.29 One Earthology Seminar 2021 100年後の大地を想う 1st round

2021.10.20 One Earthology Seminar 2021 100年後のいいただきますを考える 2nd round

2021.10 若者たちによる気候変動問題へのアクション「渋谷 COP2021」

2021.11.17 One Earthology Seminar 2021 100年後の多様な命を育む 2nd round

2021.12.21 自主ゼミ SDGs ワークショップ

2021.12.26 One Earth Guardians 公開シンポジウム 2021

2022.2.26 東京環境局主催 食ロス・プラスチック削減ウェビナー

2022.3.12 一般社団法人 Green Innovation 主催

2022.3.18 第9回 LUC Lecture 微生物生態系を盛り上げることで実現する持続可能な街づくり

2021.4.7 第6回 LUC Lecture

2021.5.19 第7回 LUC Lecture

2021.9.25 ~ 11.6 (ハイフレックスで開催)

2021.10.8 ~ 2022.7.16 「Beat!! 八重洲」学生たちが描く未来の食プロジェクト

2021.10.8 ~ 2022.7.16 「Beat!! 八重洲」学生たちが描く未来の食プロジェクト

2021.10.8 ~ 2022.7.16 「Beat!! 八重洲」学生たちが描く未来の食プロジェクト

2021.12.22 One Earthology Seminar 2021 100年後の大地を想う 2nd round

2021.11.20 食から始まる未来創造プロジェクト Future Food Innovation Workshop 2021

2022.2.26 東京環境局主催 食ロス・プラスチック削減ウェビナー

2022.3.7 星陵アーツ&レクチャーシリーズ'21#3【講演会】

2022.3.18 島津製作所・農学生命科学研究科 共同企画

2022.3.12 ソニー社会連携講座 IGNITE × OEGs コラボレーション企画

「ワン・アースロジー」実学研修 実施企業・団体等



実学研修報告会 2021.5.12 東洋水産株式会社(2020 年度報告)

Beat!! 八重洲 学生たちが描く未来の食プロジェクト

皮ったスープ 一社TOKYO FOOD INSTITUTEのプレスリリースより

2022.3.1 第8回 LUC Lecture 宇宙のSDGsと地球のSDGs

2022.3.12 ソニー社会連携講座 IGNITE × OEGs コラボレーション企画